

# 今こそやろう減災式

『防災活動』とは、何をすれば良いのでしょうか？ ヒントを探す為に書籍や防災関連のホームページ等を探ってみました。すると防災活動とは何をすべきか、どのような活動が良いのかが丁寧に掲載されています。しかしながら、その多くの資料に共通点があることに気付きました。それは活動のほとんどが「**生き残った人を対象**」とした活動であるということです。通報、避難、消火、救助、炊き出し、応急処置、避難所運営等々。災害発生後、生き残った人を活動の大前提としています。言い換えれば、災害発生の瞬間に亡くなった人は対象外なのです。やはり防災活動をするには、着眼点をどこに置き、活動をすれば良いのかを定義することから始める必要があります。

## シリーズ「減災式をつくろう」

発災の瞬間を起点として、発災前、発災時、発災後と三つの時間に分類できます。災害発生後の活動に関しては、確認できる多くの資料が充実していると判断できます。そこで資料にない不足部分として、**発災前に準備が必要な災害発生瞬間の対応法「死なない方法」**と、**災害が発生した後に直ちに活動に移れる「早期対応方法」**に着眼して考えてみます。

まず、優先順位として「死なない方法」を研究してみましょう。では私たちは何に対して備えるの？

地震、台風、水害、火災、交通事故等、災害因の特定から始める必要があります。考えられる災害因は他にもあるはずですが、ならば共通して備えられることのできるものは無いのでしょうか？



初心に戻り、防災とは何なのか？何故、防災活動を行わなければならないのかを考えます。やはり「防災とは自分の大切な人を守ること」。そして自分の大切な人を守る為に、自分が死んではいけないことが重要となります。

一般には「**自分たちのまちは自分たちで守ろう**」と漠然とした活動方針の中で、誰が何をどのように守るのか曖昧さの中で活動してしまいがちです。しかし「自分の大切な人を守る」と定義すれば、やるべきことが無数に湧きだしてきます。防災活動は全国一律の備えでもなく、町や村、もっと小さな単位としては、個々の家に於いても違うはずですが、そう考えると自分

の家や家族のことは自分しか判らないのです。自分の大切な人を守る為には、その小さな単位の中でしっかりと話し合いをすることが大切だと考えました。



しかし、自分の大切な人を24時間365日守り続けることなんてできない。マンションに住む多くの方は、現役世代が多く、大阪や神戸等に時間を掛けて通勤をしています。平日の昼間に災害が発生した場合、自分だけでは対応することは不可能なのです。



では、自分が大切な人を守ることでできない時間帯をどのようにして守るのかを考えましょう。親戚も遠ければあてにはできない。ならば、近所の人をあてにしても良いのではないかと考えます。でもマンションはプライバシーが守られる反面、ご近所付き合いが薄いのが最大の問題だと云われています。この問題をいかに解決し、どうすれば仲間を増やし、みんなが防災活動に取り組むことができるのか……。そこで考えだしたのが、楽しくなければ防災の輪は広がらない「**楽しく防災活動をやろう**」というスローガンです。このスローガンを掲げることで、住民の方々に対し「あいさつ運動からはじめよう」と仕掛ければ良いのです。ところが、防災活動に「あいさつ」は関係ないのではないかとされているのも現状です。

しかし、私たちの活動「あいさつから始める楽しく防災まちづくり」が正しかったことを立証する、ひょうご震災記念21世紀研究機構「過疎と都市への集中の両極化が進む中でのコミュニティづくり研究会」の研究報告を紹介します。

あいさつ運動から始めることで、多様な参加が推進される。更に参加を促す為のイベントを開催することで町が動き出す。イベントの企画・運営・実行等から町を自分たちで創造している感覚が生まれ、自分たちの町に興味を持ち出し、自分たちの町に愛着を持つようになり、自分たちの町を守る意識が生まれ、住民同士の信頼関係が構築される。また、町をステップアップさせる為に学ぼうとする。ところが情報やスキルのなさを実感し、他の地域に情報を求めるようになる。その結果、多くの情報を得ることで、更に町は進化し、自分たちの町の将来をイメージしデザイン化されていく。すると、今まであてにしていたはずの公助と云われる行政をあてにせず、自分たちで自立する方向を目指します。これは、挨拶から防災を核にすることで楽しい町づくりができあがる。その結果、町が住みやすいというだけでは無く、挨拶が災害に強い街にしてくれるのである。



遅くはありません！「**笑顔であいさつ**」みんながお互いに信頼し合えるまちづくりをあいさつ運動で！挨拶あふれるまちを目指そう！これが今回の「減災式」！